

学校だより



6月号

やまなみ

【学校教育目標】
 ○思いやりのある子
 ○進んで学ぶ子
 ○たくましい子

令和元年6月1日
熊谷市立太田小学校

★やさしく ★まじめに
★なかよく ★みんなで

【明治6年 創立】

「One for All. All for one.」の精神で

5月末の全校朝会で、「One for All. All for One.」という言葉について触れました。皆さん、ご存じかと思いますが、これはラグビーのチームプレイ精神を表す言葉として知られている言葉です。

今年は、「一生に一度」と謳われているラグビーワールドカップが熊谷で開催されます。よい機会であると考え、取り上げてみました。

ここで改めて、ラグビーについて簡単に説明します。

ラグビーでは15人が一つのチームで、1番から8番がFW、9番～15番がBKとポジションが分類されます。まず、1～3番がスクラムの最前列（重量級）、4・5番が2列目（高身長）、6・7番が3列目（動きが速い）、9番がボールの供給者、10番が司令塔、11・14番がトライゲッター（足が速い）、12・13番がタックルと前進役、15番が防衛の最終ライン。体格やそれぞれの特性（持ち味）の違う選手が、自分の役割を果たすことでトライをとるスポーツです。

「One for All. All for One.」という言葉は、多くは「一人はみんなのために。みんなは一人のために。」という日本語に訳されています。しかし、ラグビー元日本代表で元日本代表監督の故平尾 誠二さんは、この解釈を以下のように述べています。後半の『「All for One.」の「One」の意味は「一人」ではなく、「勝利」を意味する「Victory」である。「One for All. All for One.」は、「一人はみんなのために。みんなは勝利のために。」である。どんな優秀な選手でも、一人でできることには限界がある。しかし、チームになれば、1+1が3にも5にもなる。』これがチームプレイのすばらしいところだと思います。

ただし、これには前提条件があって、『一人一人が「自立」した大人であること。一人一人がきちんと「勝利」に向かって自分の足で立っていること。チームの一員として他のメンバーに甘えたり、寄りかかったりしない、大人の集団であること。』とのことです。

学校や社会全般では、「勝利」と考えるのはそぐわないため、「目標」とするのがよいといわれています。そこで私は、

「One for All. All for One.」＝「一人はみんなのために。みんなは目標達成のために。」

として、各教室に掲げてもらいました。子ども達にはいろいろなタイプの子がいます。それぞれが自分の特性を活かして、自分の役割を果たすことで、学級の目標が達成できるのだと思うからです。これは、私たち教師集団にとっても同じことです。「One for All. All for One.」の旗印の下、『チーム太田』として成長できるように頑張りたいと考えています。

9月29日（日）、太田小は熊谷ラグビー場でワールドカップラグビーを観戦します。

（ジョージア VS ウルグアイ 戦）

子ども達も先生達も、本物のラグビーに触れることで「One for All. All for One.」

の意味を理解し、一人一人をリスペクト

（尊敬、尊重、敬意）し、協力する集団に近づくことを期待しています。



《6月の生活目標》

～進んであいさつや返事をします～
（立ち止まってのあいさつは太田小の目標）

お疲れ様でした！ 【PTA奉仕作業】

晴天の5月18日（土）、PTA役員の皆様、多くのPTA会員の皆様にご協力をいただき、奉仕作業が実施されました。《プール内部》《プール周辺の除草》《校舎内環境整備》に汗を流していただきました。児童の学ぶ「学習環境」がよりよく整えられました。お世話になりました。ありがとうございます。



窓ふき



プール清掃



エアコン清掃